

きいて・めもして・こたえよう

ダムの 働きの説明

なまえ
名前

聞くめあて ダムの「三つの働き」を、一つずつ分けてメモしましょう。

おとさない言葉：働き・数字・しくみ

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

(1) ダムの働きは、いくつあると言っていましたか。

(2) 大雨のとき、ダムはどんな働きをしますか。

(3) ダムで電気を作るしくみを、何といますか。○をつけましょう。

ア 風力発電

イ 水力発電

ウ 太陽光発電

(4) ダムについて、もっと知りたいことを、一つ「しつもの文」で書きましょう。

やまおり

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声流す）。読む回数：2回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

今日は、社会科で学ぶ「ダム」について話します。ダムは、川の水をせき止めて、大きな湖のようにためておく、コンクリートのかべです。ダムには、大切な働きが三つあります。

一つ目の働きは、こう水をふせぐことです。大雨がふって、川の水がふえたとき、ダムに水をためて、川からあふれるのをふせぎます。下流の町を、水害から守るのです。

二つ目は、水をおくり出す働きです。ためた水を、田や畑、工場、家などに、少しずつおくります。雨が少ない日がつづいても、水にこもらないようにするためです。

三つ目は、電気を作る働きです。ダムからいきおいよく水を落とし、その力で機械を回して、電気を作ります。これを「水力発電」といいます。ダムは、わたしたちのくらしを、いろいろな形でささえているのですね。

メモのれい

ダムの働き（川の水をせき止める）三つ

- ① こう水をふせぐ（大雨→水をためる→下流の町を守る）
- ② 水をおくり出す（田・畑・工場・家へ／雨が少なくても）
- ③ 電気を作る＝水力発電（水を落とす力で機械を回す）

こたえと かいせつ

(1) 三つ

「ダムには、大切な働きが三つあります」の部分です。

(2) (水をためて) こう水をふせぐ

「ダムに水をためて、川からあふれるのをふせぎます。下流の町を、水害から守る」と言っていました。

(3) イ (水力発電)

「水を落とし、その力で機械を回して、電気を作ります。これを『水力発電』といいます」と言っていました。

(4) (例) ダムは、どれくらいの水をためられますか。／どこにありますか。

ダムに関係する「たずねる文（～ですか。）」になっていれば正解です。